

学 部	看護リハビリテーション学部
学 科	
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>豊かな人間性を培い、高いヒューマンケアの視点で看護及びリハビリテーション領域の専門職者としての実践力を備え、医療および保健福祉の分野で看護学科は看護師、保健師、助産師及び養護教諭として、理学療法学科は理学療法士として、地域社会や国際社会において活躍するために、各学科が定める履修上の要件を満たした学生に対して「学士」の学位を授与する。</p> <p>1. 知識・理解 幅広い教養、倫理的態度、コミュニケーション力及び豊かな人間性を身につけることができる。</p> <p>2. 汎用性技能 科学的な専門知識及び技術に基づき判断・実践し、問題を解決することができる。</p> <p>3. 態度・志向性 ・医療、保健、福祉、教育等の分野の人々と連携・協同し、自らの役割を果たすことができる。 ・専門職者として国際化・情報化へ対応することができる。</p> <p>4. 総合的な学習経験と創造的思考力 自学創造の学習態度、生涯学習の姿勢を持ち自己の専門領域を学術的に探求することができる。</p>	

学 部	看護リハビリテーション学部
学 科	看護学科
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>看護学科では、下記に挙げる人材を育成する。そのために、共通科目、専門基礎科目、専門科目、自由選択科目で構成される授業科目について、所定の卒業要件単位数 124 単位以上を修得することが卒業の要件である。この要件を満たした学生に対して、「学士(看護学)」を授与し、看護師国家試験受験資格が与えられる。保健師・助産師については、さらに所定の単位を修得すると、国家試験受験資格が与えられる。また、養護教諭1種免許は、卒業要件を満たし、所定の単位を修得した者が申請できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間を尊重する態度のもと、個人および集団に対する生活の質の向上のために、その人々にあった創造的なケアの実現を目指すことができる 2) 対象者とその家族を中心にした看護のために、ライフサイクルを踏まえた人間理解のもと、科学的根拠に基づいて看護が実践できる 3) 社会文化的背景の理解のもとに、コミュニケーション能力を活かして人間関係を培うことができる 4) 国際・情報化社会に柔軟に対応できる基礎的な能力を身につけ、グローバルな観点を踏まえた看護を志向することができる 5) 多職種との連携において、チームの一員としての役割を理解し、メンバーシップ、リーダーシップが発揮できる 6) 看護専門職としての責任や倫理的態度のもと、自律・自立した学習が推進できる 	

学 部	看護リハビリテーション学部
学 科	理学療法学科
ディプロマポリシー（学位授与の方針）	
<p>理学療法学科では下記にあげる人材を育成する。そのために、共通科目、専門基礎科目、専門科目、自由選択科目で構成される授業科目について、所定の卒業要件単位数を修得し、最終的に124単位以上を修得することが卒業の要件である。この要件を満たした学生に対して「学士」の学位を授与し、理学療法士国家試験受験資格が与えられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生命に対する深い畏敬の念と倫理観に満ち、人を総合的に把握し理解できる幅広い教養のある人間性豊かな人材 2) 理学療法の専門的知識と技術を習得し、急性期医療から地域ケアにいたる課題を科学的根拠に基づいて探求できる人材 3) 理学療法の専門性に基づいて、広く全般的な相互理解を深め、保健・医療と福祉の連携・協力に向けて、チーム医療の一員として活躍できる人材 4) 自己学習能力を身につけ、新たな知見・技術の開発に貢献し、社会変化に対応した理学療法の専門性を探求することができる人材 5) 国際交流の場において、様々な国の人・文化を理解し、理学療法士として国際的な視野をもつことができる人材 <p>上述の5つの要素は、下記の4つの観点で卒業時に必要とされる能力を示すことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識・理解 <p>リハビリテーション医学に関する標準的な知識を持ち、理学療法士としての倫理的態度を習得し、対象者を心と身体の両側面から理解することができる。</p> 2. 汎用性技能 <p>理学療法学領域や関連する学問領域の知識・手段を用いてリハビリテーション医学的に分析・考察し、論理的に表現することができる。</p> 3. 態度・志向性 <p>対象者を中心とした医療チームの一員としての役割を理解し、対象者の健康維持・管理をする立場として自らの教育・管理能力を養い、社会的責任を果たそうとする態度を持ち、必要なときにはリーダーシップをとることができる。</p> 4. 総合的な学習経験と創造的思考力 <p>人間と社会、自然と環境について常に関心を持ち、主体的に学習を続け、国際的視野を持ちながら理学療法の専門性を探求し続けることができる。</p> 	